

きらめき活動 2020

県民活動助成事業報告書



公益財団法人

山口きらめき財団

YAMAGUCHI KIRAMEKI FOUNDATION

はじめに

山口きらめき財団では、地域の様々な課題解決に取り組む県民活動を支援するため、多くの皆様からの心のこもった寄付金等を活用し、県内の幅広い分野で活躍する県民活動団体に対する助成事業を実施しています。

この助成事業により、コロナ禍にあっても、県内各地で世代を超えた多くの方々による熱意あふれる活動が展開され、地域の活性化や地域の絆づくりに大いに貢献されています。

この冊子は、令和2年度に当財団が助成した41団体の活動状況を取りまとめたものです。

県民の皆様や活動団体の皆様には是非ご覧いただき、今後の活動の参考として広く活用いただければ幸いです。

令和4年（2022年）3月

「きらめき活動2020」について

- ・団体の代表者名、構成員数、問い合わせ先は、令和4年3月現在のものです
- ・「活動現場レポート」は、当財団職員が訪問した活動の現場の状況を掲載しています

I 自立支援「ゆめ」プログラム

ポポメリー	…	1
特定非営利活動法人 NO B O R E R	…	2
SCU～地域魅力拡散し隊～	…	3
伊上地区まちづくり協議会	…	4
きょういくTOKORO	…	5
オリーブ・シード	…	6
お弁当長向上委員会	…	7
夢花咲プロジェクトの会	…	8
特定非営利活動法人 ほっぺこどもの森	…	9
茶トの会	…	10
やまぐち婚活カレッジ	…	11

II 課題解決支援「はな」プログラム

Good Life Cooking	…	12
うべ交通まちづくり市民会議	…	13
赤間関街道中道筋連絡協議会	…	14
特定非営利活動法人 降松平和の里ハイキングの会	…	15
まちの住民館「あかり」	…	16
琴石グリーン村	…	17
しあわせ花の会	…	18
ふるさと維新YYプロジェクト	…	19
縄地ヶ鼻公園振興会	…	20

ネット山陽	…	21
花の咲く夕日の里づくりの会	…	22
川棚温泉観光ボランティアガイドの会	…	23
豊北郷土文化友の会ト	…	24
明日を紡ぐ大地の会	…	25
勝山三山を守る会	…	26
宇部市地球温暖化対策ネットワーク	…	27
ひかりエコメイト	…	28
一般社団法人 やまぐちGISひろば	…	29
特定非営利活動法人 ぼうぼうネット	…	30
下松市防災士会	…	31
やない平和を語る会	…	32
特定非営利活動法人 あっと	…	33
認定特定非営利活動法人 こどもステーション山口	…	34
一般社団法人 Happy Education	…	35
チャイルドライン岩国ステーション	…	36
夢・すこやか☆老いも若きも子ども食堂	…	37
山口県で活動するジュニアアスリートをサポートする会	…	38
特定非営利活動法人 消費者ネットやまぐち	…	39

III 明治安田生命コロナ対策助成金

特定非営利活動法人 うべ子ども21	…	40
特定非営利活動法人 シニアネット光	…	41

団体名 ポポメリー（山口市）

代表者名	藤本 育栄	団体の目的
構成員数	2団体・24人	がん患者の居場所を作り、家族だけでなくがんに関心のある人すべての人に知識や理解を広げ、がんになっても前向きに自分らしく生きられる社会を目指す。
設立	2019年(R1年)12月	
問い合わせ先	090-4808-8081（藤本）	

事業名 がんサポートネットワーク事業

事業の目的 ・座談会や交流会の開催、相談支援、情報発信等により、がん患者の居場所を作り、家族だけでなくがんに関心のある全ての人に理解や知識を広める。

事業の内容

- ・座談会、交流会
開催日：6月～3月
場所：オンライン及び小郡地域交流センター等 参加者：312人
内容：がん経験者やがんに関心のある人が気軽に集い、情報共有等を行う座談会（44回）や交流会（5回）を実施
- ・個別相談・個別対応
開催日：4月～3月
内容：電話やチャット、オンラインによる悩み相談等への対応
- ・勉強会
内容：・団体運営や事業、広報等の実践的な方法を学ぶ研修会の開催（講師 船崎美智子氏／財団派遣事業を活用）
・がんピアサポートに関する研修や交流会等への参加
- ・広報
内容：・ホームページ、リーフレット（1,320部）の作成
・ブログ、facebook、LINE公式アカウントによる情報発信
・Youtubeチャンネルの開設、啓発動画の配信

事業の成果

- ・オンラインの導入により、座談会の開催回数の増加や県外の団体との情報交換・協力が進むなど、活動の幅を広げることができた。
- ・SNSやブログの活用により、活動が広く認知され、ピアサポートに関心を持つ人が増えたり、他団体とつながることができ交流の輪が広がった。

活動現場レポート リアル座談会によるがんピアサポート（R2.10.4／小郡地域交流センター）

コロナ禍の中、がん経験者やがんに関心のある人が気軽に集まって話したり、情報共有する、リアル座談会が今年度、初めて開催されました。

代表の藤本さんの団体紹介に続いて参加者全員が自己紹介され、初参加の中には、がんに関する相談業務に携わる方もおられました。

続いて、オンラインの参加者とともに、がんについて疑問に思っていることや自身の経験談など熱心に話されていました。

また、10月はピンクリボン月間ということで、乳がんをテーマに代表の藤本さんが話をされ、乳がんに関するクイズも行われ、盛り上がっていました。



座談会



乳がんに関するクイズ

団体名 特定非営利活動法人NO BORDER (光市)

代表者名	松本 奈津美	団体の目的
構成員数	11人	子どもや障がいのある人達を中心に、より多く広い世代や環境に対し、イベントなど個人や団体が繋がる取り組みを中心に実行・研究し、子どもたちの平等な教育環境と、ボーダレスに向けた意識づくりに寄与する。
設立	2020年(R2年)3月	
問い合わせ先	no.border.kmo@gmail.com (松本)	

事業名 「手話ダンス」育成・発信事業～「手話」と「リズムダンス」を学ぶ～

事業の目的 ・手話やろう文化への理解、手話のスキルアップ、現代的なリズムダンスのスキルアップを組み合わせた「手話ダンス」のプログラムをすることで、道徳や芸術の視点も含めた思いやりの心と体を育て、ボーダレス意識や発信力のある人材育成に繋げる。

事業の内容 ・手話ダンス講座、発表会

開催日	場所	活動内容
9月12日	光市地域づくり支援センター	ダンスレッスン、手話レッスン
9月26日 10月3日	室積コミュニティセンター	手話ダンスレッスン
1月31日	室積コミュニティセンター	ダンスレッスン、手話レッスン
2月20日	光市地域づくり支援センター	手話ダンスレッスン
2月23日	スターピアくだまつ	発表会「みんなで踊ろう！手話ダンス」

- ・広報
手話うた動画・ホームページの作成、ホームページやSNSによる情報発信

事業の成果 ・講座や発表会等を通じて交流の輪が生まれ、参加者同士の障害に対する意識のボーダレス化に繋げることができた。
・発表会で多くの人に活動を知ってもらうことができ達成感が増した。

活動現場レポート

「手話ダンス」育成・発信事業～「手話」と「リズムダンス」を学ぶ～
(R2.9.12/光市地域づくり支援センター)

この日は、イベントに応募した近隣の小学生と父兄45人を対象に、ダンス講師からリズムダンスを学ぶ「ダンス講座」と、ろうの講師・通訳者から手話を学ぶ「手話講座」が開催されました。

「ダンス講座」では、「ハピネス」に合わせてフレーズごとに繰り返しレッスンを重ね、子どもたちは飲みこみがよく、しばらくするとひととおり踊れるようになっていました。蒸し暑い中、誰もリタイアせず一生懸命レッスンを受けられていました。

「手話講座」では、「手話うた」の動画を見ながら、講師が「ハピネス」の歌を手話で披露し、参加者がそれに倣って手指を動かすかたちで進められ、皆さん熱心に学ばれていました。



ダンス講座



手話講座

団体名	SCU～地域魅力拡散し隊～（下関市）	
代表者名	中山 伊吹	団体の目的 学習を軸に、地域の魅力を高めるため、ボランティア活動のほか、ワークショップなどの地域の魅力アップのための幅広い活動を行う。
構成員数	9人	
設立	2019年(R1年)12月	
問い合わせ先	s190146@eco.shimonoseki-cu.ac.jp（中山）	

事業名	地域魅力拡散事業
------------	----------

事業の目的	・若者の視点で地域の情報を収集・発信していくことで、地域の魅力アップを図り、活動の幅を広げていく。
--------------	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・SCU & GA（グライズデール・アーツ※）ワークショップ 開催日：12月5日 17:30～19:00 場所：オンライン（Zoom） 参加者：15人 内容：講師：アダム・サザーランド（GAディレクター） ①GAの拠点・館内コレクションの紹介 ②イギリスの野菜を使った料理のデモンストレーション ※グライズデール・アーツ：イギリスで地域再生に取り組む現代アート団体 ・新聞の発行 発行回数：3回／年 内容：Twitter・Instagram等のSNSで発信するデジタル版と紙面で発行するアナログ版により、貴和の里（下関市菊川町）の紹介や団体の活動報告・メンバー紹介等を掲載
--------------	---

事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを通じて人脈を広げることができた。 ・新聞とSNSにより多くの人に貴和の里の魅力を伝えるとともに、会員それぞれが知識と理解を深めることができた。
--------------	---

活動現場写真



ワークショップ後のメンバーの様子



発行した新聞

団体名 伊上地区まちづくり協議会（長門市）

代表者名	廣田 隆男	団体の目的
構成員数	330人	地域の特性を生かしたまちづくりを進め、都会の人が憧れるような農業、林業等の関係事業を通じて、地域の元気を取り戻す。
設立	2018年(H30年)12月	
問い合わせ先	080-6318-1540（槇田）	

事業名 自分らしい農業がおもしろい

事業の目的 ・地域住民が個性を発揮でき、若者が憧れるような農業の振興や地域の絆の深まりを目指す。

事業の内容 ・自然栽培米づくりと農業体験
 場 所： J R伊上駅前田んぼ 参加者： 60人

開催日	活動内容
5月5日	水路保全、田おこし、水張り、代かき
6月13日	手作業での田植え
7月21日	害虫被害の防止を祈願する行事「サバー送り」
8月22日 29日	中間報告会 つばめ農園（阿東町徳佐）見学、交流会
10月11日	稲刈り、ハゼかけ、イナゴ捕り等の農業体験会
11月 1日	稲刈り、ハゼかけ、脱穀、むしろ干し

事業の成果 ・移住者、移住希望者が少しずつ増加し、一緒に耕作を始めることに繋がった。
 ・管理農業を行っている方に、昔ながらの米づくりの良さを理解してもらえた。
 ・子どもたちのお米を大切に作る心を育むことができた。

活動現場レポート

スクーリング部会社会科の第2回勉強会「自分らしい農業がおもしろい」
 〈R2.10.11 / J R伊上駅前田んぼ〉

伊上地区の人たちを対象に、自然栽培による米づくりの勉強会が開催されました。最初に、刈った稲をわらで束ねる方法を教わると、子どもから大人まで全員が田んぼに入り、稲刈りを体験しました。小さい子どもは大人の手を借りながら、また、小学生は一人で鎌を使って上手に稲を刈っていました。作業を進めるうちに手慣れた手つきとなり、最後はハゼかけまで行いました。

また、昼食のおむすびは、ラップを使ってコンビニのように海苔と別になっており、ご飯をおいしく食べる農村の知恵を知ることができました。

おむすびの後は、捕ったイナゴの唐揚げをみんなで食べて記念撮影をして解散となりました。



稲刈り



記念撮影

団体名	きょういくTOKORO (柳井市)	
代表者名	野村 雅子	団体の目的
構成員数	10人	広瀬、一丁田、地区の有志が地域でのコミュニケーションを図り、色々な繋がりや生きがいを持って、生き生きと安心安全に楽しく地域で生活していく。
設立	2020年(R2年)3月	
問い合わせ先	090-8995-5309 (野村)	

事業名 地域にぎわい事業

事業の目的 ・柳井市広瀬、一丁田、忠信自治会の地域において、住民の交流を通じてコミュニケーション力を育てる。

事業の内容 ・地域サロン
 場 所：柳井市西福祉センター 参加者：110人

開催日	活動内容
8月1日 10:00~12:00	第1回井戸端お茶飲み会 (塗り絵、読み聞かせ、歌声テント等)
10月24日 10:00~11:00	頑張るママと子どもの美 YOGA
10月31日 10:00~10:40 10:00~12:00	イクメンパパと子どものわくわく体操 de Happy ! 第2回井戸端お茶飲み会 (塗り絵、読み聞かせ、折り紙細工等)
12月12日 9:30~11:30	みんなでクリスマス

事業の成果 ・回を重ねるごとに参加者が増え、活動の理解を拡げることができた。
 ・一人暮らしの方や家族ぐるみの参加などにより、地域での交流が進み、住民間の繋がりが広がった。

活動現場写真



みんなでクリスマス

団体名 オリーブ・シード（山陽小野田市）

代表者名	岡本 照美	団体の目的
構成員数	5人	山陽小野田市及び県内の防災意識の向上を図るため、防災力のある地域づくり、防災ネットワークづくりを行う。
設立	2020年(R2年)1月	
問い合わせ先	090-8998-7545（岡本）	

事業名 「オリーブ・シード」防災意識向上事業

事業の目的 ・山陽小野田市及び県内の防災意識の向上を図るため、防災力のある地域づくり、防災ネットワークづくりを進めるほか、防災啓発イベント「アースデイin山陽小野田市」を実施する。

事業の内容

- ・ラジオ番組「やっぱり防災じゃなくっちゃ」
開催日：4月～3月の第1月曜日 12:00～13:00
場所：FMスマイルウェーブ
内容：コロナ禍での避難など3コーナーに分けて「備え」について啓発
- ・防災バッグ「あい防」製作
開催日：4月～9月 製作数：50個
内容：防災士の意見を参考に正規品を作成し、県内の防災士にモニターとして使用を依頼し意見聴取
- ・第6回アースデイ in 山陽小野田市～あの日を忘れない～
開催日：9月27日 第1部 10:00～12:00 第2部 13:00～15:00
場所：FMスマイルウェーブ
内容：
 - ・県内の防災士による防災クイズ、防災グッズ・非常食レシピの紹介、熊本地震でのボランティア活動報告
 - ・県出身のアーティスト等による音楽演奏、アートパフォーマンス等

事業の成果

- ・ラジオ番組により、多くのリスナーに活動を知ってもらうとともに、防災の大切さを伝えることができた。
- ・「あい防」を防災士に使用してもらうことで、高齢者用という概念が取れ、車や職場での防災バッグとして用途が広がった。

活動現場写真

第6回アースデイ in 山陽小野田市



防災バッグ「あい防」

団体名 夢花咲プロジェクトの会（下関市）

代表者名	片山 久美子	団体の目的
構成員数	6人	誰もが来て悩みを話せる居場所、地域の交流の場となる、子ども食堂の取組を通じて、子どもを中心に地域のつながりを取り戻し、地域の活性化を目指す。
設立	2019年(R1年)6月	
問い合わせ先	083-774-0269（片山）	

事業名 「子ども食堂あすなろ」を地域に定着させる事業**事業の目的** ・子ども食堂の取組を通じて、子ども食堂が地域に認知され、地域内外に支援の輪を広げ、子どもを中心に地域のつながりを取り戻し、地域を活性化する。

事業の内容

- ・子ども食堂あすなろ
開催日：7月～3月の第3土曜日 12:00～14:00
場 所：黒井公民館
内 容：・子どもや子どものいる家庭を対象に食事の無料提供
・感染症対策として弁当で提供、テイクアウトに対応
- ・みんなの食堂
開催日：11月7日 12:00～14:00
場 所：黒井公民館 参加者：99人
内 容：地域住民を対象に食事の無料提供、活動紹介の展示
- ・団体のリーフレットの作成（2,000部）、民生委員・公民館・図書館等に配布

事業の成果

- ・みんなの食堂により、地域の方の理解が進み、食材の寄付や賛助会費等の支援、ボランティアスタッフの拡大に繋がった。
- ・リーフレットの作成や民生児童委員へのPRにより、子ども食堂あすなろの認知度を上げることができた。

活動現場レポート 第1回みんなの食堂〈R2.11.7/黒井公民館〉

「子ども食堂あすなろ」をPRするため、今回初めて、対象を地域住民に広げた「みんなの食堂」が開催されました。マスクの着用、消毒液の設置、換気、使い捨ての食器等を使用するなど感染症対策に留意されていました。

オープン後は、高齢者や若い親子、3世代家族など様々な住民が途切れることなく訪れて、メニューのカレーライス・サラダ・果物を美味しそうに食べておられました。

来場者には、スタッフの皆さんも積極的に声を掛けられるとともに、テーブルには、お花も飾られるなど、心配りされた温かい雰囲気となっていました。

また、会場では、活動紹介の展示も実施されおり、訪れた方が熱心に質問したり、見学したりする様子も見られました。



子ども食堂



みんなの食堂

団体名 特定非営利活動法人ほっぺこどもの森（山口市）

代表者名	江藤 美和子	団体の目的
構成員数	10人	情報が溢れる社会や希薄化した人間関係等の中で、親自身が「自分らしく」楽しく子育てができる親になり、さらに地域の問題改善に取り組み、より子育てしやすい環境・地域社会づくりに寄与する。
設立	2020年(R2年)3月	
問い合わせ先	090-4658-9569（江藤）	

事業名 子育て支援プログラム

- 事業の目的**
- ・子育て中のママと子どもの交流の場づくり
 - ・健やかに子育てができるように心身を整える
 - ・子育て中の不安や悩みの解消

- 事業の内容**
- ・子育て講座
参加者：61人

活動内容	場所	開催日
音楽リトミック教室	山口ミュージックアカデミー	7/15、9/16、10/2 11/18、1/20
ほっぺの寺子屋	オンライン (Zoom)	8/21、10/6、12/4、 2/9
マタニティママのエクササイズ講座		9/14、12/14
産後ママのエクササイズ講座		7/13、10/12、2/15
助産師によるおっぱい教室		9/8、12/8
離乳食講座		7/7、10/13、2/16
ベビーマッサージ教室		8/18、11/4
食育講座		8/25、11/10、3/9

- ・広報
内容：団体のリーフレットの作成（1,000部）
ブログや facebook により、活動紹介・講座の案内等を情報発信

- 事業の成果**
- ・コロナ禍で外出がままならない妊婦や産後の母親の心身の健康を増進できた。
 - ・講座をきっかけに継続的な学習を望む声もあり学びのきっかけづくりができた。
 - ・人とのふれあいが少なくなる中、県外からの参加もあり、オンラインでも十分に交流することができた。

活動現場写真



音楽リトミック教室



ベビーマッサージ教室

団体名	茶トの会 (宇部市)	
代表者名	古屋 美由紀	団体の目的 Street Cat (野良猫) を地域で飼育監理することにより、Community Cat (地域猫) へと移行させ、飼い主のいない猫を減らしていく。
構成員数	5人	
設立	2020年(R2年)2月	
問い合わせ先	chatonokai0222@gmail.com (古屋)	

事業名 飼い主のいない猫、人と人とのトラブルZERO事業

事業の目的 ・猫を好きな人をターゲットに、団体の活動や地域猫のことを知ってもらう。

事業の内容

- ・活動啓発ツールの作成
 期間：5月～12月
 内容：リーフレット、のぼり、テーブルクロス
- ・周知活動
 内容：地域のイベント等に参加し、PRグッズを活用した展示により地域猫活動を啓発
 実施日：ときわ公園フリーマーケット参加 (9/20、10/18、11/15、1/17) にぎわい宇部出展 (12/29、1/10、2/23、3/7、3/13)

事業の成果

- ・リーフレットは、子どもにも理解しやすいよう、漫画や写真を多く掲載し、読みがなをふるなど工夫したので、活動をより広く認知してもらえた。
- ・コロナにより様々なイベントが中止され、活動を啓発する場の確保が難しかったが、コロナ禍でもできる取り組みの必要性に気づくことができた。

活動現場写真



ときわ公園フリーマーケットでの展示

リーフレット

団体名 やまぐち婚活カレッジ（周南市）

代表者名	門脇 まゆみ	団体の目的
構成員数	6人	未婚化・晩婚化を地域社会の問題としてとらえ、結婚を考えている未婚男女の出会いと学びを創出するとともに、婚活や妊活の支援や自分磨き支援に取り組む団体や市民とのネットワークづくりを推進する。
設立	2020年(R2)年3月	
問い合わせ先	090-4698-5731（山本）	

事業名 やまぐち婚活カレッジ2020

事業の目的 ・結婚を考えている独身男女を対象に、婚活しながら学んでおきたいことをテーマに学びと出会いの場を創出する。

事業の内容 ・やまぐち婚活カレッジ
場 所：オンライン（Zoom） 参加者：延べ52人

開催日	活動内容
12月22日 19:00～20:30	講 師：紺谷 好宣さん（ファイナンシャルプランナー） テーマ：婚活でライバルより一歩リードするライフプランニング
1月12日 19:00～20:30	講 師：登坂 正子さん（医学博士） テーマ：ミネラルの知識で幸せになる
1月26日 19:00～20:30	講 師：刀根 良典さん（臨床心理士） テーマ：「心」と「心」を繋ぐコミュニケーションの方法
2月9日 19:00～20:30	講 師：平山 佳世子さん（フォトグラファー） テーマ：あなたらしいプロフィール写真を
2月23日 19:00～20:30	講師：福田 マリコさん（看護師・整体師・嗅覚反応分析師） テーマ：ポスチャートレーニング（美しい姿勢教室）

事業の成果 ・オンラインでの開催は、会場までの移動の必要がなく気軽に参加できるほか、県外からも参加があるなど、学びと出会いの場として新たな可能性を発見した。
・受講者からは、オンラインでの講座は自分だけの特別授業のようで、多くの学びと気づきがあったと好評を得た。

活動現場写真

オンラインで交流

第4回講座「あなたらしいプロフィール写真を」

